

じんけん ひろば 人権の広場

OSAKA

女性活躍推進月間

大阪府では産官学などで構成する「OSAKA女性活躍推進会議」を平成27年7月に設置し、平成28年度から9月を「OSAKA女性活躍推進月間」と定め、オール大阪で女性活躍推進に向けた機運醸成に努めています。

また、本市においても平成30年4月に改訂した「第2次いずみさの男女共同参画行動計画（第2次人ひとプラン）」の一部を女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）第6条に基づき、「泉佐野市女性活躍推進計画」に位置づけ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という考え方の周知や啓発・学習機会の提供、男性にとつての男女共同参画の推進に努めています。

問合せ先 人権推進課

第40回
人権啓発詩・
読書感想文募集

府では人権を身近に考えてもらえるよう、人権に関する「詩」と「読書感想文」を募集いたします。

入選者には賞状と副賞（図書カード500円分）が贈呈されますので、ぜひ、応募してください。

募集作品・規格

「人権の尊さやお互いの人権を守ること」「差別のない明るい社会を築くことの大切さや平和の尊さを訴えること」などをテーマにした作品

詩部門 形式・長さ自由

読書感想文部門 400字詰め

原稿用紙

- 小学校（部） 生は3枚以内
 - 中学校（部） 生は5枚以内
- ※作品の冒頭に作品名、学校名、学年、氏名を記入してください。

両部門への応募も可能ですが各部門とも1人1作品で未発表の

ものに限ります。

対象 府内在住・在学の小・中学生、支援学校小・中学生
表彰 小学校（部）低学年の部・高学年の部、中学校（部）の部の各入選者

問合せ先 9月3日（金）（必着）までに府人権企画課（☎06・6210・9281）へ

※応募方法など、詳しくは府人権局ホームページ（<http://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/work2/index.html>）をご覧ください。



泉佐野市人権を守る市民の会・あいあいクラブ 合同学習会

～俺の仕事は重度身体障害者～

平成28（2016）年7月「津久井やまゆり園」殺傷事件から5年、植松死刑囚の「重度障害者は生きていても意味がない」という考え方をどのように受け止めるのか。重度障害者が人として生きられる社会はどのような社会か。当事者の話を聞き、私たち自身のあり方や社会のあり方について考えます。

日時 9月18日（土）午後2時～3時30分

場所 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター

定員 60人（先着順）

※手話通訳あります。

講師 佐藤栄男さん（重い脳性まひによる障がいのある人）

申込・問合せ先 9月1日（水）～17日（金）までに電話、FAX、eメール（jinken@city.izumisano.lg.jp）で泉佐野市人権を守る市民の会（人権推進課内）へ

佐藤栄男さん プロフィール

神戸市在住の45歳。6歳～15歳まで施設で過ごし、身体障害者手帳1級の最重度で電動車いすを利用する障がい者で、現在は市営住宅でひとり暮らし。

平成28（2016）年7月の津久井やまゆり園事件の植松死刑囚の「重度障害者は生きていても意味がない」という言葉を聞き、「この社会も同じような考えではないか？」と考える。それでも「自分は健常者が中心の社会の入口のカギを開けたい」と思っており、わずかに動く指でパソコンに打ち込み続けた自分史の「俺の仕事は重度身体障害者」という冊子を昨年、とりまとめる。

